

福祉ボランティア・社協フェスタ  
京都市社協創立 60 周年記念 シンポジウム

共にすすめる絆づくり

地域発！社会的孤立を防ぐ「見守り活動」と「居場所づくり」の実践

◆日 時 平成24年10月14日（日）午前10時30分～11時30分

◆会 場 みやこめっせ 1階 福祉・ボランティア社協フェスタ会場 ステージ

◆主 催 社会福祉法人京都市社会福祉協議会・京都市福祉ボランティアセンター



**福祉ボランティア・社協フェスタ**  
**京都市社協創立60周年記念シンポジウム 開催日程**

○ 主 催 社会福祉法人京都市社会福祉協議会、京都市福祉ボランティアセンター

○ 開催日時 平成24年10月14日（日）10：30～11：30

○ 開催場所 みやこめっせ1階 福祉ボランティア・社協フェスタ会場 ステージ

○ 日 程

テーマ 「共にすすめる絆づくり  
－地域発！社会的孤立を防ぐ「見守り活動」と「居場所づくり」の実践－」

コーディネーター 同志社大学 永田 祐 氏

実践報告 「学生・若者と協働する高齢者の居場所づくり」

林 正則 氏 (紫野社会福祉協議会 会長)

成田 将幸 氏 (佛教大学 学生サークル「むらさきっず」代表)

「居場所を拠点とした相談援助と支援活動」

古角 都志子 氏 (菊浜学区社会福祉協議会 副会長)

「被災時に備える日頃からの要配慮者見守り」

柴田 芳郎 氏 (樺原社会福祉協議会ボランティア推進委員会 委員長)

意見交換・まとめ

紫野学区（北区）

「学生・若者と協働する高齢者の居場所づくり」

紫野社会福祉協議会 会長 林 正則 氏

佛教大学 学生サークル「むらさきっず」代表 成田 将幸 氏

---

# 紫野学区



## 紫野学区の現状

### ・人口・

全人口 7968人(男3649人、女4319人)

0~14歳 762人(9.86%)

15~64歳 4626人(59. 8%)

**65歳以上 2338人(30. 2%)**

年齢不詳 242人

(平成22年度 国勢調査より)

### ・一人暮らし高齢者 400名以上

(紫野学区高齢者アンケート調査より)



#### ◆パープルフレンズ結成秘話

紫野の人口は、現在約8000人。うち、半分を高齢者が占める学区。その中でも一人暮らし高齢者の方が約400人以上在住されている。また、西陣のまちならではの木造家屋が多く、火事や地震によって被害を受ける可能性が高い地域である。そのため、日頃から、地域での繋がりや支え合いが不可欠な地域である。その繋がり・支え合いを創るためにパープルフレンズが結成！！

#### ◆パープルフレンズとは

紫野学区に住む一人暮らし高齢者の方が中心となり、食事会、歌作り、カフェの運営などを通して、仲間と支え合い、いきいきと活動をされておられます。「私たちが紫野を元気にする！」そんなパワーの溢れる方々ばかりです。

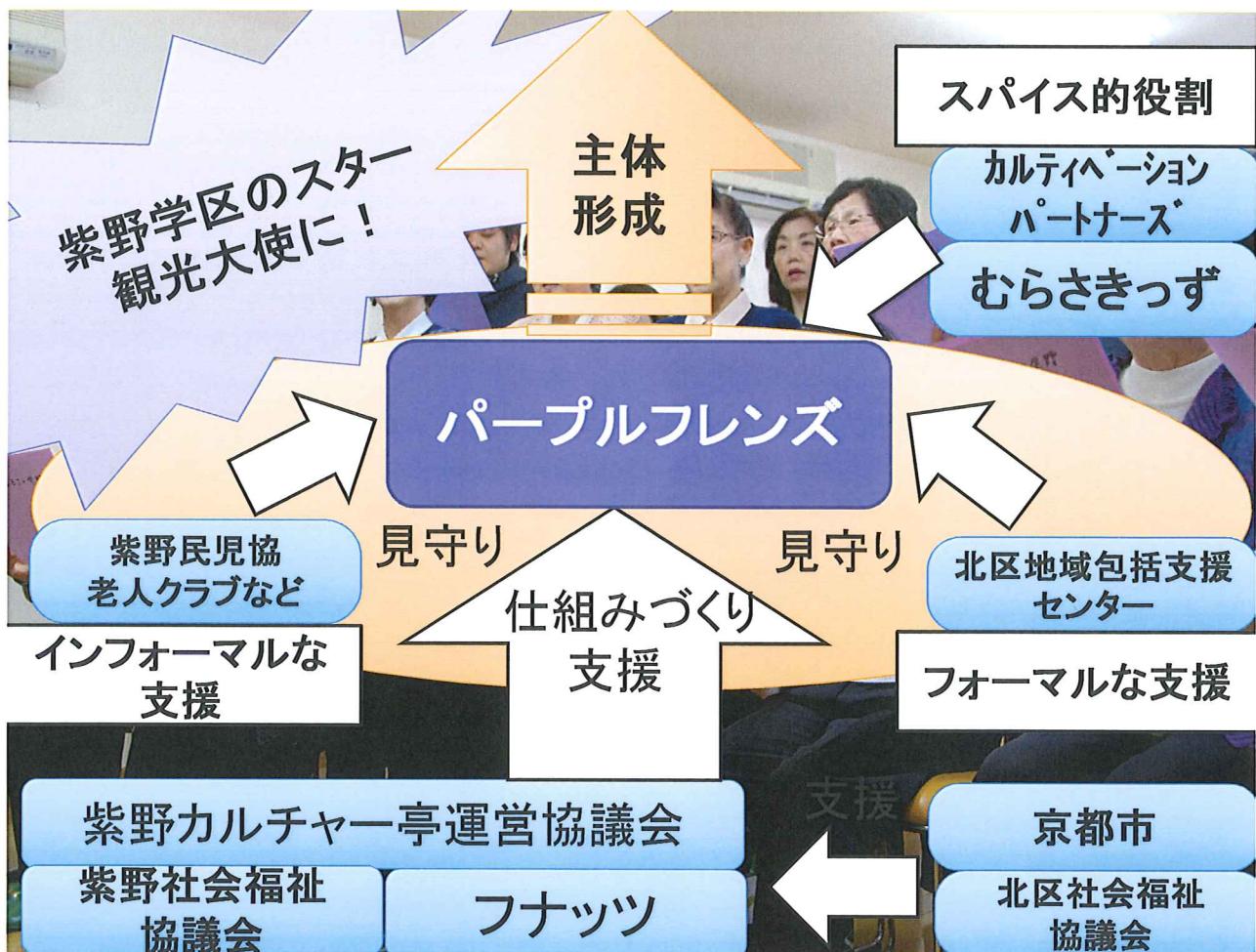
### これまでの活動(平成23年度～)

- 7月 防災講座開催。が、人が集まらず。
- 9月 歌作りに方向転換 「ふるさと紫野」作成開始。
- 10月 「ふるさと紫野」完成。猛特訓の日々！
- 11月 紫野まつり出場も、満足のいく結果が出せず。
- 12月 クリスマス会にて、「ふるさと紫野」CDデビュー。
- 1月 リベンジ！満を持して、北区民冬祭り出場！歌い切る！！
- 2月 夏に向けて「紫野音頭」作成開始。
- 4月 紫野音頭完成！ さくらまつりにて披露。
- 5月～ 特養紫野・老健施設がくさいへ訪問活動、歌を披露。
- 6月 北区民春まつり出場。この頃から、紅白出場を意識。
- 8月 盆踊りを主催。地域の人に大変喜んでもらった！
- 9月 新展開、始動！「カフェ紫野」オープン。
- 町家オープンに向けて一同結束！さらに一步前へ！！

「一人暮らし高齢者は  
守られるだけの存在なのか」

## 活動を通して～人は成長し続ける～

- |                         |   |                         |
|-------------------------|---|-------------------------|
| ・活動に足を踏み入れた             | → | ・家から一步外に出た！             |
| ・歌を歌った                  | → | ・口の可動域が広がった！            |
| ・踊りをおどった                | → | ・基礎体力が向上した！             |
| ・北区民冬まつり、春祭りなど大きな舞台に立った | → | ・自信がついた！                |
| ・「〇〇さん今日来てないなあ」         | → | ・仲間を心配するようになった！         |
| ・会費を取るようにした             | → | ・グループ意識が芽生えた！           |
| ・盆踊りを主催した               | → | ・「何かまちのために！」と考えるようになった！ |
| ・カフェ紫野オープン！！！           | → | ・もっと何かしたいと思うようになった！     |



パープルフレンズ一同



# カフェ紫野、始まる！

## デイリー紫野

10月の開店予定  
10月10日（土）14時～16時  
10月13日（土）14時～16時  
10月27日（土）14時～16時



京都の夏といえば、やっぱり地蔵盆ですね！紫野でも毎年、各町内会で高齢者の会「パープルフレンズ」にまたまた新しい動きがみられていました！その試みとは、すばり、「カフェ紫野」のオープン！自分たちで店をきり盛りし、地域から多くの方に接待している姿はそんじよそこのメイドカフェにはひけをとらない艶やかさを醸し出しています！現在は、紫野会館の一室を借りて訓練の日々ですが、将来的には町屋を改修し運営ができれば、と皆さんはりきっておられます。ぜひ、皆さん、一度お立ち寄りになつてくださいね。



そこで、パープルフレンズが主催となり、盆踊りを企画しました。それにはあわせて、なんと「紫野音頭」なるものを作詞・作曲してしまった。

京都の夏といえば、やっぱり地蔵盆ですね！紫野でも毎年、各町内会で地蔵盆が開催されていますが、昔は盆踊りもあちこちでされていたとお聞きしています。

8月25日(土)、

パープルフレンズ主催

2012/10/9(火)  
第2号  
紫野カルチャー亭  
運営協議会  
むらさきつづ

紫野音頭 (1番)

老いも若きも元気よく  
家にいてんと外に出て  
みんな歌つて  
ソーレソレソレ  
輪になつて踊る

歓声があがり、大いに盛りあがつた一日でした。



## 成田将幸代表

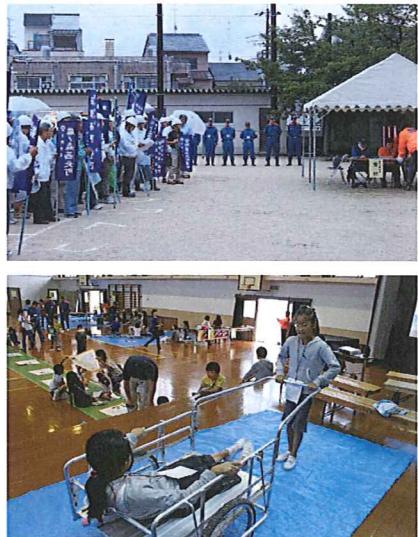


# むらさきっずについて語ります！

むらさきっずは、3年前に取り組まれた「聞き書きプロジェクト」に端を発し、佛教大学の学生を中心として誕生した学生グループです。

聞き書きプロジェクトでは、紫野に古くから住んでおられる高齢者にインタビューを行い、最終的に冊子「紫野ノート」にまとめました。こうした活動の中で、特に一人暮らし高齢の方々がこの紫野で孤立せずに、安心して暮らしていただくためにはどのような仕組みをつくっていったらよいかを熱心に話しました。

その過程で、ペープルフレンズが生まれる訳ですが、私たち学生は、このペープルフレンズと歌づくりを通じてスクラムを組み、これまで数多くの舞台を経験してきました。私は2年近く、この活動に参加させていただいていますが、第一の故郷と思えるほど、紫野のことが好きになりました。これからも紫野のスペイスト的役割で、街の活性化に関わって行きたいと思います。



## 総合防災訓練& 子ども防災エキスパート実施！

去る9月23日（日）、紫野において総合防災訓練が実施されました。当日はあいにくの雨でしたが、町内会訓練として、まず、発災後、地域

の集合場所（町内会ごとに場所が決められています）に集まり、安否確認を行つてから紫野小学校に避難していました。

だきました。

また、今年は初めての試みとして、「子ども防災エキスパート」という小学生を対象としたイベントを実施しました。当日は、体育館一面を活用し、

「歩いて答える防災クイズ」や「AED体験コーナー」、「防災袋の中身を考えるワークショップ」等、様々な防災コーナーを設置しました。

## ペープルフレンズ 会員募集中！

私たちと一緒に歌つて笑つて楽しい時間を過ごしませんか？



たくさんのご参  
加お待ちしてい  
ます！

<連絡先>紫野カルチャーハウス運営協議会  
(紫野社会福祉協議会・フナツツ)  
担当:石川(090-6245-0795)  
協力 紫野民生児童委員協議会  
紫野地域包括支援センター  
むらさきっず(佛教大学学生グループ)

菊浜学区（下京区）

「居場所を拠点とした相談援助と支援活動」

菊浜学区社会福祉協議会 副会長 古角 都志子 氏

---

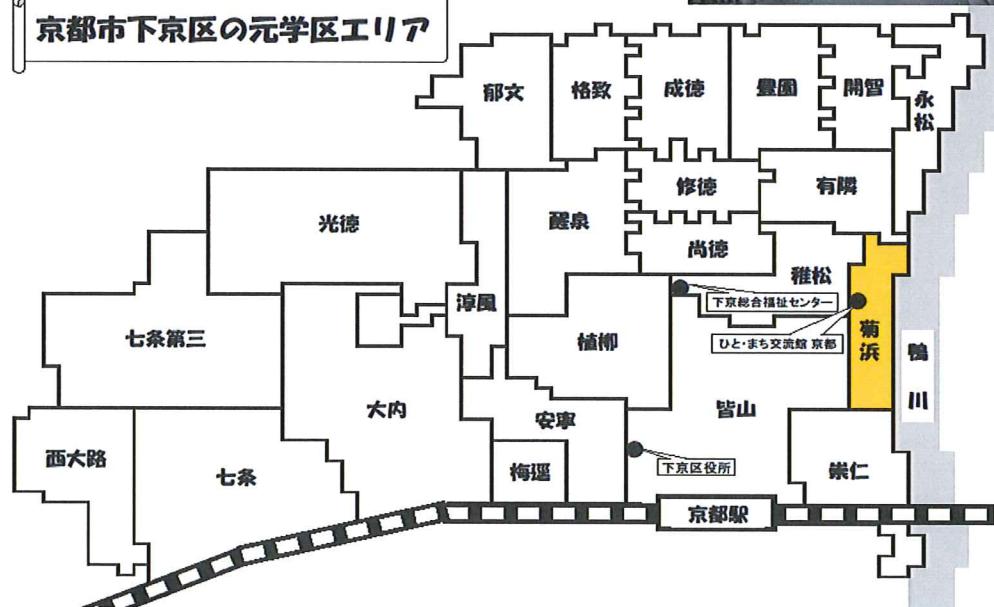
# 居場所を拠点とした 相談援助と支援活動

菊浜学区社会福祉協議会  
副会長 古角 都志子

1

## 菊浜学区について

京都市下京区の元学区エリア



2

## 菊浜学区について

- # 人口 ... 1, 963人
- # 世帯数 ... 1, 275世帯  
うち単身世帯913世帯  
(71. 6%)
- 1世帯平均員数...1. 54人
- # 高齢化率 ... 27. 81%  
(4人に一人を超える)



3

## 健康すこやか学級について

- # スタート時...

当時の小学校区3学区合同開催

- # 現在...菊浜学区での単独開催
- # 毎月2回(第2、第4水曜日)開催
- # 担い手の体制...ボランティアの担当制  
(1回につき4~5名一組)

4

## ミニディ～茶そば～



健康チェックや包括支援センターからの情報提供ののち、地元うどんやの協力で茶そばをいただきました。

5

## ミニディ～敬老のつどい～



6

## ミニディ～歌声喫茶～



予約がいらず、ふらっと立ち寄れる『サロン形式』の歌声喫茶です。青春時代のなつかしい歌をみんなで口ずさみました。

7

## ケース1：悪質商法

### # 課題

…悪質商法

### # 対応のきっかけ

…ミニディでの相談

### # 対処の仕方

…ボランティアが自宅に同行、電話の対応や、事後処理などを一緒に行う。



8

## ケース2：包括支援センターとの連携

### # 課題

…転居、病気による  
地域での孤立



### # 対応のきっかけ

…包括支援センターからの地域への相談

### # 対応の仕方

…包括さんの誘導により、ミニデイへの  
参加

9

## ケース3：暮らしを支える

### # 課題

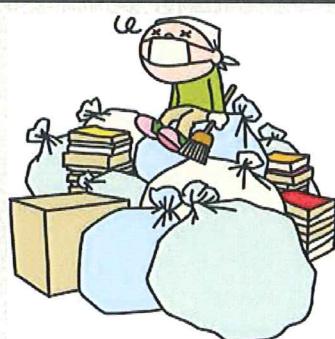
…参加者の体調の急変

### # 対応のきっかけ

…ミニデイ欠席のため  
ボランティアが様子を見に行き発見

### # 対応の仕方

…救急搬送、ボランティア・関係機関による  
在宅復帰のための生活環境の調整



10

# まとめ

- # ケースに対応して  
...ネットワークの  
重要性
- # これからの課題  
...「地域における  
見守り活動促進事  
業」の発展



菊浜ミニデイボランティアミーティング

樺原学区（西京区）

「被災時に備える日頃からの要配慮者見守り」

樺原社会福祉協議会ボランティア推進委員会 委員長 柴田 芳郎 氏

---



テーマ 被災時に備える“  
日頃からの要配慮者見守り！”

## 櫛原学区の紹介



私たちちは 西京区の中心部を走っている  
櫛原～水尾断層  
の真上に住んでいるんです

櫛原学区	H22年度 国勢調査値	17年比
全人口	14,678名	△593名
全世帯数	5,980世帯	27世帯増
* 単身世帯 609世帯	占める割合 34.8%	
* 二人世帯 691世帯	" 39.4%	
* 65歳以上 3,086名	占める割合 21.1%	3.7%増
* 14歳未満 2,035名	" 13.8%	



**ステップ I - 1**  
プロジェクトの取組み

これからもこの町で暮らしたい 安心安全の町  
をテーマに地域の方々の想いを集めます

◇主役はあくまでも一人ひとりの参加者です！(ワークショップ)



◇福祉の町づくり活動の4つの窓

1	私たちの町内の良いところ！ 合計 67カード	3	地域の助け合いでこんな町内であったらしいな！ 合計60カード
2	町内活動で困っていること！ 合計65カード	4	これから 私達に出来る事等を具体的に！ 合計60カード

	ブロック名	対象自治会	人数
第1回	北ブロック 9月24日	月見が丘、櫻台、佃 五条、櫻原西、東、	26名
第2回	西ブロック 10月08日	南櫻原、史跡、公社 若草、親和、市団地	21名
第3回	中・ブロック 10月23日	東櫻原、南調子、調子 西南、三重	22名
第4回	東ブロック 11月05日	松園、竹園、梅園、桜 園、閑電桂、流田、蓮 田 六ノ坪、野田	24名

(気づきカードまとめ) 向こう3軒両隣を考える！

1	・居住環境にめぐまれている 生活の利便性、静かな住宅環境	3	・地域での交流の場が多い町がいい 人々の繋がりを大切にする、参加が楽しい行事を
2	・町内を牽引する人が少なくなってきた 高齢化の波と、ご近所繋がりが薄くなってきた	4	・ご近所周りに関心を持ち声掛けの行動 皆が楽しく集まるしきみ等を考えよう！

ステップ I-2  
絆“友の会設立と推進体制

ブロック毎の推進運営で地域絆づくり！

ボランティア 絆友の会

推進スタッフ

北①ブロック  
18名

北②ブロック  
10名

西ブロック  
20名

中ブロック  
20名

絆友の会へ福祉協力員が  
加わり、ボランティア人口も倍  
増に至りました

東ブロック  
13名

自主防災は4ブロックでしたが北ブロックの世帯数が多かったので  
①と②に二分し5ブロックで運営することにしました



ブロック毎 福祉に関連する皆さんが2ヵ月に1回顔を合わせる会合

半数の方は  
任期が一年で  
交代されます

自治会  
○○福祉協力員

○○高齢者  
福祉委員

○○ブロック長  
ボランティア委員

○○児童  
福祉委員

○○障害者  
福祉委員

○○老人  
福祉員

○○民生  
児童委員

町内で福祉に関する心配事等の情報交換の場  
向こう3軒両隣！みんなでささえあい  
横原社会福祉協議会○○ブロック

ステップ II-1  
向こう3軒両隣 取組み

こんな事ならお助けてできます！  
地域ブロック毎でのチョイボラ サービスをスタートする

横原学区にお住まいの方で(要配慮者世帯)、日頃ご不便や  
お困りの事があればお手伝いさせていただきます！  
(お助け対象は： 障害者世帯・高齢者世帯・母子家庭)

地域で要配慮者世帯  
を知る！趣旨と同時に  
ご近所 ご互いさまの  
声掛け運動です



電球交換



家具移動



庭木の手入れ



病院介添え



買い物代行



ちょっとした  
修理

\*有償サービスになります 300円／1回／1人(1回2時間以内の作業が目安です)

ご気軽にご互いさまを考えた結果です(要配慮者のある意味対等の気持ち)⇒この部分が伝わりにくい点です！

地域のボランティア活動資金にさせていただいております

お助け上手・助けられ上手を目指し、  
口コミで広げています

ステップ II-2  
向こう3軒両隣 取組み

地域の皆さまへ ちょいボラを してくれる人  
募集しています

募集のちらし

樺原社会福祉協議会の(地域ブロック毎) 紋“友の会で  
「向こう3軒両隣」運動に、ちょっとの時間で結構です  
ボランティアとしてのご参加者を、募集しています！

\*年齢制限なし お元気な方 :募集期間 いつでも可

数年継続して支えてくれるボランティアを  
増やしていくのが!  
狙いなんです

現在の  
登録者  
(42名)

地域のお助けマンへのご登録

- ・大型家具の移動
- ・電球電池の交換
- ・電気製品の操作
- ・庭のくさとり
- ・網戸の張り替え
- ・買物通院の介添え
- ・その他 自分の持っている特技

ご登録内容  
の事例

自分がしたい！お助け内容とは

ボランティアの良い日

- ちょいボラ時間帯 何曜日? Am/pm?  
その他

お問合せTEL 090-7750-8434  
樺原社会福祉協議会、ボランティア推進部会(事務局 横田、柴田)

相談

登録

調整

開始



ステップ III-1  
向こう3軒両隣 取組み

要配慮者・見守り者・支援者の支え合い運動！  
(地域の情報を共有化し易い 支え合いマップの導入)

マップのしくみ

寝たきり高齢者  
災害が起きたら  
私たちのござれる  
かも

体の不自由な方  
災害時一人で避  
難できるかな？

一人暮らしの人  
もし災害がきたら誰  
が助けに来てくれる  
だろう！

要配慮者の変動がおおい為、  
更新管理を的確にするしくみが  
必要です

要配慮者

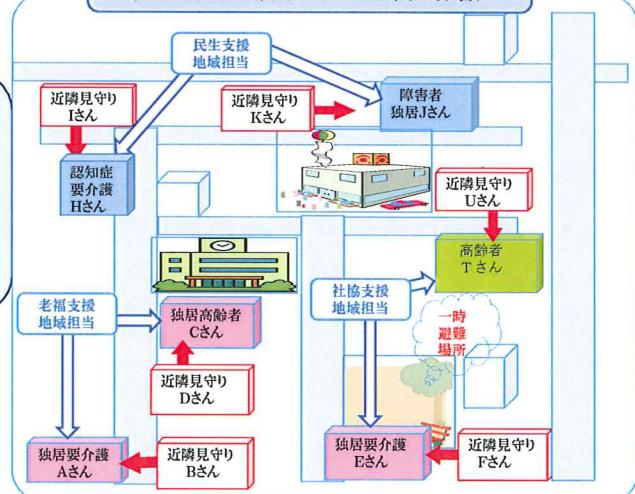
支え合い  
運動  
登録カード

近隣見守り  
地域支援者

見守りや災害時などに  
ご協力いただける方

今回の取組みで苦労  
したのは マップに  
載せるため運動への  
同意書記入でした

要配慮者・見守り者・支援者支え合いマップ  
住宅地図上に表示 (ブロック長の保管)



ステップ III-2  
向こう3軒両隣 取組み

地域の絆“である”

支え合い運動に多くの方からご賛同頂く...計125名

樋原 支え合いマップ 登録カード		
私は樋原向こう3軒りょうどなりか、支え合い運動に要請いたします。 住所 氏名 平成 年 月 日		
要配慮者 記入欄		
区分	内	外
生年月日		
家族構成		
身体の状況		
連絡先（電話）		

**要配慮者 用  
ご本人に記入願う**

支え合いマップ 登録カード		
私は樋原向こう3軒りょうどなりか、支え合い運動に要請いたします。 住所 氏名 平成 年 月 日		
近隣の見守り者 記入欄		
区分	内	外
特技・地域活動?		
身体の状況		
連絡先（電話）		

**近隣の見守り者 用  
ご本人に記入願う**

支え合いマップ 登録カード		
私は樋原向こう3軒りょうどなりか、支え合い運動に要請いたします。 住所 氏名 平成 年 月 日		
地域支援者 記入欄		
区分	内	外
特技・地域活動?		
身体の状況		
連絡先（電話）		

**地域支援者 用  
ご本人に記入願う**



私は要配慮者？  
なかなか同意されないケースに  
出会いました

広い意味でのボランティア人口が増加！

24年3月現在の登録  
学区全体で52名の要配慮者、45名の近隣見守り者、28名の地域支援者



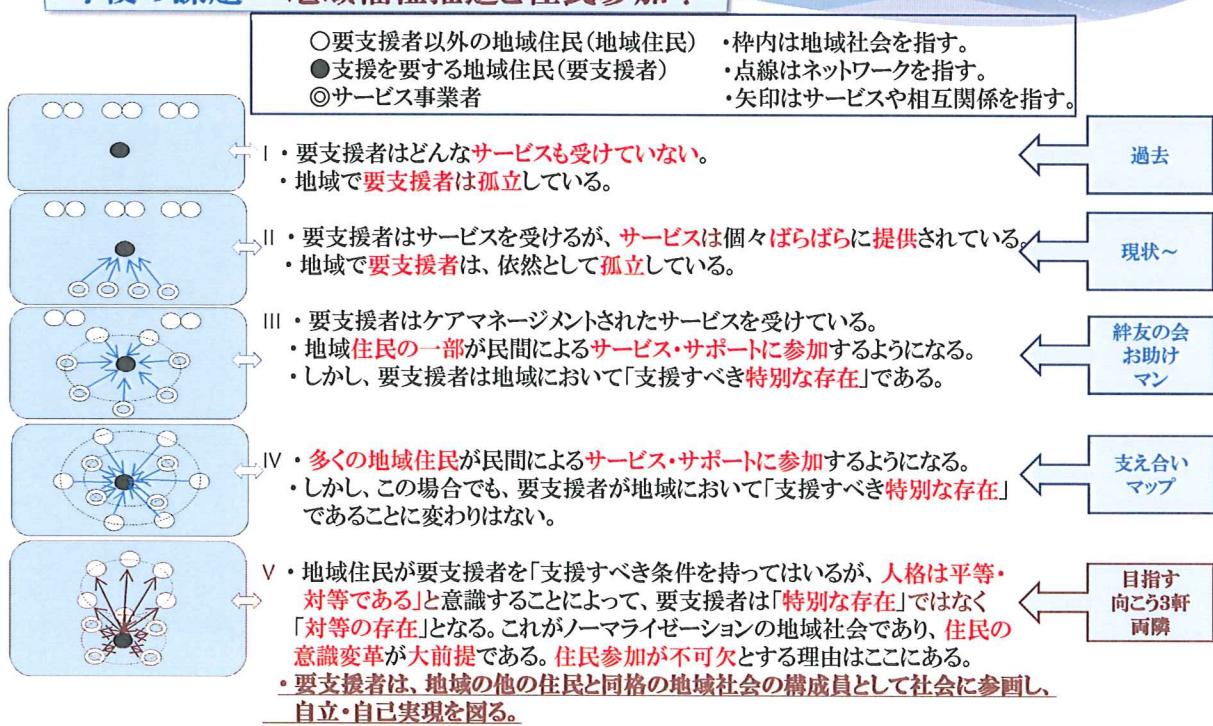
個人情報守秘義務は大きなハンドルでした

近隣支援者の方々から  
同意書を書くのは？すごく責任を感じ  
辞退される方も多くおられました

ステップ IV  
今後の課題 目指す向こう3軒両隣

要配慮者見守りが地域住民らの  
特別なサポート意識からの脱却を目指す

今後の課題・ 地域福祉推進と住民参加？



～人に優しく、災害に強い、信頼の絆で結ばれた福祉のコミュニティづくりを進めます～

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

〒600-8127 京都市下京区梅湊町83番地1 ひと・まち交流館 京都3F

電話075-354-8731 FAX075-354-8736

HP : <http://www.syakyo-kyoto.net/> Eメール : sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp